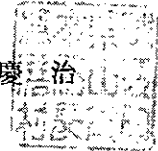


山建第 606 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

熊本県球磨郡山江村長 内 山 慶 治



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別添のとおり回答いたしますので、よろしくお願いします。

記

1. 今後の道路行政についての意見・提案①、②-1、②-2、③、④

道路整備は都市、地方を問わず重要な社会整備基盤であるが、三位一体改革後、地方の道路財源は乏しくなり、さらに今回の道路特定財源の一般財源化に伴い道路整備が著しく困難となっているが現状である。地方においては公共交通機関の選択が限られ、少子高齢化の進む地方での移動手段の大半が車となるため、道路整備に対する住民の要望は非常に強い。

山江村においては、村内を縦断する県道坂本人吉線と県道相良人吉線は本村にとって重要な基幹道路であるが、両路線ともに未貫通であり流通・交流の妨げとなっているので、この2路線の早期貫通を強く要望する。

また、本村は東西に山田地区と万江地区に分かれており両地区を結ぶ道路が未整備のため一度人吉市を経由しなければならないのが現状である。併せて隣接する国道219号線へのアクセス道路も整備されていないので、両地区を結び国道へ接続する基幹道路の整備も必要である。

よって、地域間格差の是正、地方の活性化のために今後も道路整備の財源確保を強く要望する。

②-1 地域の現状と抱える課題

熊本県山江村

○現状

山江村は山田地区の中心を県道相良人吉線、万江地区の中心を県道坂本人吉線が縦断しており、その周りに集落が点在している。村内の交通手段は車に限られているが、道路未改良区間では車の離合もできない路線、緊急車両が通行できない路線もあるのが現状である。

また、山間地集落地を抱える本村においては、梅雨前線豪雨や台風などの影響で土砂災害が発生し、孤立する集落があるため、災害時の早急な復旧を求められるとともに災害に強い道路及び緊急時の迂回路の整備が求められる。

○課題

県道2路線が袋小路となっているため早期貫通が必要である。

また、この2路線を中心に緊急車両の通行可能な道路、災害時の対応道路網の整備など、地域間の道路整備を行い道路の利便性を高める必要がある。

②-2 地域の目指すべき将来像

熊本県山江村

現在、山江村においては都市と地方の交流事業としてグリーンツーリズムを展開している。村内を流れる万江川はホテルの名所であるとともに鮎や山女釣り、避暑地として賑わっており、この河川と平行して並ぶ県道及び基幹道路の整備は重要不可欠なものである。

また山江村内を高速道路が縦断おり、山田地区に位置する山江サービスエリアの利用者も多いことから、山江サービスエリアにスマート IC を設置し、それぞれの県道へつなぐ基幹道路を整備することにより企業誘致の推進及び都市と地方の地域間の流通・交流を高め、地域の活性化を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

熊本県山江村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他